



発行所  
氷川神社社務所

日本唯一  
気象神社

〒166-0003  
東京都杉並区高円寺南4-44-19  
電話 03-3314-4147  
FAX 03-3315-0034

氷川神社  
公式HP



気象神社  
公式HP



高円寺氷川神社  
公式 Twitter



迎春

謹んで新年の  
御祝詞を申し上げます

令和7年初詣の参拝者

年頭のご挨拶



新年の始めにあたり、謹んで御国の安寧を祈念申し上げますと同時に、日頃からお世話になつてゐる氏子崇敬者や関係者のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

五年前に世界中で猛威を振るひ始めた「新型コロナウイルス」。誰もが予想だにできなかった目に見えない敵が私たちの生活を一変させてしまいました。長い時間を要しましたが、ようやく通常の社会活動が戻ってきました。

一方で、令和6年元旦に石川県能登半島を襲つた大地震。大津波や火災も伴い、多くの家屋、建物の倒壊、土砂災害、道路寸断をもたらした。災害関連しも含めて約700名の命を奪うものになりました。また復興半ば、9月には歴史的豪雨による水害が発生してしまいました。能登半島以外でも、気象災害が各地で発生しました。梅雨時期には日本各地で発生した線状降水帯により、甚大な土砂災害、浸水害、洪水害が発生しました。また夏には各地で猛暑日(日最高気温35度以上)が続ぎ、10月まで暑い日が続きました。長い夏の後には、一転、大陸からの強い寒気が南下、特に日本海側では記録的な大雪に見舞われています。気候変動には抗えませんが、「大難が小難」となることを、とにかく祈念申し上げます。

皆様にとりましてこの一年が心穏やかで、素晴らしいものとなるように心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせて戴きます。

令和7年元旦 高円寺氷川神社宮司

松井美加子





# 令和七年 元旦祭齋行

甘酒

令和七年 新年奉納者御芳名

年末には除夜祭、令和七年を迎えると同時に元旦祭を齋行致しました。

神事前には氏子の皆様より年末までに納めて戴いた御神札や御守をお焚き上げをしました。その後、新年を迎えると同時に除夜太鼓の儀を行い、元旦祭齋行となりました。祝詞では今年一年における国家と氏子の皆様の安寧、繁栄、健康を祈念しました。

今年も昨年に続き、氏子青年会のご奉仕による甘酒、お神酒の提供がなされ、多くの参拝者に振舞われました。久しぶりに元旦の境内に活気が戻ったことを感じ取ることができました。

今年も昨年に続き、氏子青年会のご奉仕による甘酒、お神酒の提供がなされ、多くの参拝者に振舞われました。久しぶりに元旦の境内に活気が戻ったことを感じ取ることができました。



## お焚き上げの様子



## 初詣の様子

氏子青年会の伊東さんは毎年夜通しでお焚き上げを手伝って戴いています。今回も元旦の0時から正午までご奉仕戴きました。



金式拾萬円

責任役員 渡辺忠司

金老拾萬円

紺谷尚昌

金参萬円

伊藤貴世

金式萬円

(有)田丸屋不動産

金壹萬円

アロットオブリングス

佐治珠美

金伍千円

佐藤順子

(株)装飾フジシマ

峰広良子

清酒

菅野信子

佐藤順子

中山健吾

恵比寿クリニック産後整体院

※令和7年1月7日時点

年明けと同時に太鼓を108回たたきました

厳かな雰囲気の中での元旦祭





★かつてのこうえんじん★  
〜第十二話〜

今回の文章で、この連載も12回目となる。ほぼ隔月で掲載していただいているので、2年以上の月日が経ったときおり「読んでますよ」と声をかけていただくのは、何よりの喜びだ。「高円寺とはどういう街なのか」という問いが大きくなっている。街とは何か、ということに関しては、私なりに答えがある。それはそこに住む人、勤める人、生活する人、遊びに来る人、などなど。人こそが街だと思っている。

江戸時代、桃園川の北は「はら」南は「とおり」と呼ばれていた。この区分けは現在にも生きていて、現在は暗渠になっている桃園川が境となり、北は「高円寺北地区長会連合会」南は「高円寺中央地区町会連合会」と町会が分かれている。文化・文政期に編纂された『新編武蔵風土記稿』に「青梅街道」の記述を見ることが出来る。江戸城築城のため、青梅で採れる石灰を運ぶために開かれたこの道は、奥多摩を抜け大菩薩峠を越えて、甲府の手前で甲州街道とつながる。明治期には甲州裏街道とも呼ばれていた。「とおり」の人たちは、その道がもたらす商いの匂いを敏感にかぎ取り、自ら商行為に手を染め始めたといわれている。

さらに江戸中・後期になると、北にある堀之内妙法寺に、参拝者が多く訪れ、西の浅草寺、東の妙法寺、と言われるほどの賑わいを見せ始める。安藤広重や葛飾北斎など、文人も多く訪れ、広重は『江戸名所堀之内妙法寺祖師詣』を描いている。浮世絵とともに、落語は江戸期有数のメディアとして機能していた。『堀之内』という演目は、不条理劇と感ずるほどの、度を越した粗忽ものが、妙法寺に参拝する様が語られている。浮世絵というインスタを見て、落語というYoutube 動画で、江戸の人々はこぞって妙法寺を目指したのだ。「とおり」の人々が、この妙法寺の賑わいに影響されたのは当然のことだろう。小川頭道が書いた随筆『塵塚談』には「新宿より寺の門前まで水茶屋、料理茶屋其の外酒食の店、数百軒をならぶ」とある。「とおり」の住民の中にはそれら飲食店を経営し、様々な身分の人間に対する多様な思いを持ち、面白いという栄枯盛衰を味わうことで、或る種の諦念というものを得たのではないだろうか。自然もそうだが、人も思うようにはならない。これは現代の高円寺にも通じる「ゆるさ」の源のように思う。ゆるいのは、だからしない、ではなく、やさしい、に近いのではないか。

最後に、妙法寺を舞台にした、幕末のエピソードを紹介し仕舞にしたい。最後の將軍徳川慶喜が恭順の意を示すために上野寛永寺に蟄居したのは、1886年(慶応4年)2月11日のこと。その処遇に不満を持つ、元一橋家家臣で幕臣の渋沢誠一郎などが中心となり、浅草本願寺で結成されたのが彰義隊だ。旧幕府は、彰義隊が新政府に対抗するための軍事組織と見られることを恐れ、そのころ悪化していた江戸の治安を安定させる目的で、市中取り締まりの役目を与えた。江戸が無血開城し、慶喜は生家の水戸に退去、彰義隊は松戸まで見送りをする。官軍に対して敵意を隠そうとしない彰義隊。それを意気と感じ、上野の山にはせ参じる者多数。慶喜という隊の象徴を失い、さでどうする。内部で意見の対立が起こった。日光へ転居し、武力衝突を避けようとする頭取渋沢誠一郎。上野にとどまり、輪王寺宮を盟主とし官軍と対峙しようとする副頭取の天野八郎。両者の意見に折り合いがつかず、渋沢が上野の山を下りることになる。再起を図るために渋沢とその同士が寄り集まったのが、妙法寺の門前にあった料亭信楽亭であった。彼らは田安門前にあった幕府陸軍駐屯所に官軍を装って侵入し、最新式のミニエー銃200挺を奪いとる。さらに妙法寺から500両の軍資金を脅して献金させた。武器と軍資金を賄うと、田無方面に進軍する。彼らを追った政府軍との戦いは「飯能戦争」と言われ、戊辰戦争の一コマとなった。次回は明治維新以降の高円寺の庶民の姿を描いていきます。



「本屋の未来をもっと探って模索できる場」として「本店・本屋の実験室」を2024年8月に指導されました。

狩野俊





グリーンバード高円寺チームによる境内清掃

今月の御朱印

12月15日(日)グリーンバード高円寺チームの皆様が境内清掃に超越しになりました。

グリーンバード高円寺チームはゴミ拾いを通じて、高円寺に関わる様々な人をつなげて、地域を盛り上げる為に活動されています。2019年から年末の清掃を手伝って戴いており、今回で5回目となりました。当日は境内各所の落ち葉を全て集めて戴きました。参加者も年々増えており、今回は小さなお子様も含めて30名の方々に参加して戴きました。当日は抜群のチームワークを發揮して戴き、あつという間に約50袋ほどの収穫となりました。今後とも宜しくお願い申し上げます。



グリーンバード高円寺チームの皆様

令和7年1月の御朱印



今月の花手水

【氷川神社】

- ・初日の出の三つ巴
- ・正月の門松

【気象神社】

- ・お餅のようなへびさん
  - ・正月を彩るお花
- ※公式サイトに過去の御朱印を掲載してますので、ご覧ください。



生命の言葉(令和七年一月)

生命の言葉 令和七年の命 睦月 一月

昭和天皇

ふりつもる み雪にたへて  
 いろかへぬ 松ぞをしき  
 人もかくあれ

◆ご祈祷のご案内

氷川神社では各種祈禱を承っておりますので、お気軽に神社までお問い合わせ下さい。また気象神社では晴天祈願をはじめとする各種祈願を承っております。(会社、法人、団体様のみが対象となります)



宝扇会の皆様境内清掃をして戴きました。いつも本当に有難う御座います。

令和7年正月のコースター。かわいいへびさんです。正月期間に参拝者に配布しました。



編集後記

ひかわ226号をお送りしました。令和6年はとにかく「猛暑」の印象が強かったですが、秋を飛び越して一気に冬に入りました。今季は暖冬になるとの予想ですが、日本海側では大雪に警戒が必要です。

令和になり早くも6年が経ちました。時間が経過するのは年々早くなります。最近では本日に日々が過ぎるのが早く感じます。今後とも気軽にご参拝戴けるように美化活動を地道に継続します。宜しくお願ひ申し上げます。



今月の盆栽

氏子地域の盆栽屋ラビア デッソ様が毎月盆栽を神社に届けてくれます。素敵な盆栽を毎月紹介していきます。

